

学長のコラム

Uber という配車システムを御存知ですか？

この夏のサンフランシスコでは、友人の車で送迎をしていただくのが基本であったが、ゴールデンゲート公園の中の Academy of Science と美術館に送ってもらって、見学後、帰りは自力であった。タクシーを探そうとしたが見当たらない状況の中で、息子がスマホをいじり始め、しばらくすると、普通の乗用車が目の前に停まるではないか。それに乗り込むと、特に会話もせずに、世話になっている友人の家まで、送り届けてくれた。これが、Uber というシステム（米国ウーバー社による一般ドライバーによる配車・輸送サービス）である。息子が、アメリカの友人に方法を教えてもらったそうである。自分ではやっていないのであるが、スマホにアプリをダウンロードして、氏名、電話番号、メールアドレス、パスワード、料金を引き落とすクレジットカード番号などを入力してメンバーとして登録する。配車が必要になれば、乗車場所と希望時刻、目的地の住所などを入力して配車をリクエストすると到着予定時刻、ドライバー名、顔写真、車両タイプなどが回答される。後は、乗るだけで、支払いは自動であるし、言葉もほとんどいらない。評価システムもあるので、トラブルも解消できるとのこと。サンフランシスコをはじめとして、世界の数百の都市で運用されているとのことである。種々、問題もあるようであるが、言葉の通じない見知らぬ土地ではすごく便利で、まさに ICT そのもののもたらす便利である。東京でも、タクシー会社との連携で行われているが、一般ドライバーによるものは許可されていない。最近、ウーバー社が“空飛ぶタクシー”の試験飛行実施候補地の一つに日本を選んだとのニュースを見て、ハードも手がける大会社であると改めて認識した。



職員旅行（筑後吉井方面、糸島方面）

8月30日（木）【日帰りコース・筑後吉井方面】を催行しました。①「株式会社 庄分酢」にて蔵を見学（様々な種類の酢の試飲あり）⇒②併設レストラン「時季のくら」でヘルシー料理を堪能⇒③筑後吉井白壁の街並み散策（饅頭のおやつタイムあり）⇒④「ちくご手作り村」にて揚麺の工場見学（つけ麺・冷やし中華の試食あり）と、盛りだくさん・お腹いっぱい旅でした。

教職員 38 名に加え、かわいいちびっこ達も 2 名参加してくれ、賑やかで楽しい 1 日を過ごすことができました。

【8/30（木）日帰りコース】



また 9 月 13 日（木）・14 日（金）に宿泊 33 名、日帰り 13 名で福岡県糸島市と福岡県八女市の星野村に行きました。

旅行 1 日目の主な内容は、糸島野菜を使ったランチを「太陽の皿」で頂き、「糸島手造りハム工房」、ハンドメイドの革製品専門店「DURAM FACTORY」、製塩所「工房とったん」を見学し、食べ物・買い物を楽しみました。日帰り組はここから引き返しましたが、宿泊組はここから久山温泉「ホテル夢家」で 1 泊致しました。2 日目は、ゴルフ組と観光組に分かれ、ゴルフ組は、「久山カントリー倶楽部」へ。観光組は、星野村の「星野製茶園」、「茶の文化館」、「古陶・星野焼展示館」、「星野民藝」とお茶をよく飲んだ一日でした。

幹事は事務部の井坂さん、荒木さん、重さん、牛島さんと安部でしたが、皆様のご協力のおかげで無事終了することができました。参加されました教職員の皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。（文責：今年度幹事 事務部）

【9/13（木）・14（金）宿泊コース】



9 月・10 月・11 月の主な行事予定

9 /25(火)	ローソン熊本保健科学大学店開店！
9 /26(水)	後期授業開始（保健科学部）
9 /28(金)	海外留学奨学生（学生）応募締切
10/ 1(月)	認定看護師教育課程 脳卒中リハビリテーション看護入学式
10/16(月)	教授会
10/17(水)	動物慰霊祭
10/20(土)	学園祭（第 42 回答祭）
10/22(月)	平成 31 年度科研費申請書学内締切（企画課）
10/23(火)	大学運営協議会・教育改革推進会議・教員人事委員会
10/31(水)	医学検査学科 臨地実習認定式
11/ 3(土)	リハ社会人入試 フードパルフェスタ（～4 日） ふれあいフェスタ in ぼくぶ（～4 日）
11/10(土)	指定校推薦入試 一般推薦入試
11/11(日)	井芹川大清掃
11/20(火)	教授会
11/21(水)	定期健康診断
11/27(火)	大学運営協議会・教育改革推進会議・教員人事委員会
11/28(水)	銀杏学園 理事会

※インフルエンザワクチン接種予定日

10/22（月）、11/1（木）、11/16（金）、11/21（水）

オープンキャンパス・チャレンジ熊保大!

推薦入試対策講座を開催して

7月22日(日)と8月19日(日)にオープンキャンパスを、8月26日(日)にチャレンジ熊保大! 推薦入試対策講座を開催しました。酷暑の中ではありますが、オープンキャンパス2回合計で1,709名、推薦入試対策講座は295名と多くの高校生、保護者様にご参加いただきました。特に8月期のオープンキャンパスは過去最高の1,053名の参加がありました。

オープンキャンパスでは今年3月に竣工した新アリーナを全体説明の会場とし、来訪者の方々へ新アリーナと西里駅周辺の環境を見ていただきました。さらには、全体説明前に学生によるコーラスやダンスのおもてなし、学生による総合司会など、学生を主体としたオープンキャンパスを前面に押し出し、本学の学生の魅力をより発信できるよう努めました。参加者は各々の興味がある分野はもちろん、違う分野の模擬実習等も体験することができ、将来の進路選択の一助になったと思います。

近年オープンキャンパスの低学年化が顕著になっており、今回のオープンキャンパスにおいても約6割が1,2年生という結果になりました。オープンキャンパスは低学年層が将来の進路を決める上で、重要なイベントであることを踏まえつつ、引き続き改善を重ねていきたいと思えます。

両イベントにご協力いただきました教職員の皆様、大変お疲れ様でした。(文責: 広報課)



学長主催の説明会及び研修会の開催

9月18日(火)に、崎元学長主催の説明会及び研修会を開催し、95名の教職員が参加しました。この会は、教育の質的転換や熊本県内の全高等教育機関で形成するプラットフォームに関する内容で構成されており、文部科学省が求める教育改革の内容を反映したものです。項目は以下のとおりでした。

- 1 私立大学等改革総合支援事業の概要について
- 2 「プラットフォーム」への参画について
- 3 アセスメント・ポリシーを踏まえた成績評価について (FD)
- 4 シラバス作成における統一認識について (FD)

(文責: 事務局長 河瀬晴夫)

コンソ熊本 新人研修、中堅職員研修、

中堅フォローアップ研修

8月28日(火)、29日(水)にコンソ熊本の新人研修に本学からは総務部 総務部長付 田代 花梨さん、医学検査学科 学科事務 酒井 円香さん、リハビリテーション学科 学科事務 西山 佳那さんの3名が参加され、9月4日(火)の中堅職員研修には学務課 荒木 加奈美さん、図書館 重 美樹子さん、看護学科 学科事務 山下 美希さんの3名が参加されました。9月5日(水)のフォローアップ研修には、就職支援課の中村 美江さんが参加されました。

いずれも学園大であり、新人研修では立場の近い方々と意見交換もでき、横のつながりもできたようです。中堅研修では「コーチング・コミュニケーション・リーダーシップ」等について研修があり、研修後の懇親会に3名とも参加されました。またフォローアップ研修では、前年度の中堅研修を踏まえ、「業務改善」と「タイムマネジメント」の2つについて学ばれました。(文責: 人事課)

2018年度 第1回FDセミナー

9月12日(水)にFD委員会と学生相談・修学サポートセンターの共催で第1回FDセミナーを開催しました。九州工業大学学生総合支援室副室長の菊池梯一郎先生をお迎えし「障害者差別解消法に伴う学生支援(組織的・体制的)について」と題して、障害者差別解消法の概要、障害学生支援の現状、九州工業大学の支援体制・支援内容などを事例も交えご講演いただきました。本学教職員77名に加え、他大学からも19名の方にご参加いただき、本学がこれから整備すべき部分や、障がいのある学生への合理的配慮について考える貴重な機会となりました。(文責: FD委員長)



第1回情報セキュリティ研修会

8月24日(金)、本学の情報セキュリティアドバイザーである菊池健先生をお招きして、本年度第1回目の「情報セキュリティ研修会」を開催し、77名の教職員の参加がありました。安易なSNSへの投稿の危うさ、公衆無線LAN使用時の留意点などの最近のニュースや、個人情報の基礎、不正アクセスへの対応など盛りだくさんの内容でした。不気味な怪しい仮面が印象的で、ネット社会はその怪しさに取り巻かれていることを再認識する機会となりました。

(文責: 情報保護委員会委員 齊藤)



私の秘話ヒストリー

今回は医学検査学科の古賀 和美先生に投稿していただきました。

生誕半世紀を過ぎたころ何を思い立ったのか登山なるものをはじめてみました。簡単な山歩きだからと誘われて行き、両足の親指が真っ青になり爪が剥がれたというエピソードが最初の山との出会いでした。完治するのに六か月を要しました。それからです。山に目覚め九州百名山中七十位を制覇、そして2年目には穂高、立山連峰を立て続けに登り本州の山々に惹かれました。九州の山々とは違う美しさに虜になり、休みのたびに計画をたてては山へと向かいました。登りながらなぜこんなに辛いことをしているのだろうかと思いつつ山頂を目指すのですが、一步一步を確実に進めばその目的地に到達することが出来る。登った時の清々しさ、山頂からの眺め、仲間との連帯感全てに満足感を覚え次の山行きの行程を考えているのでした。まだまだ登りたい山々はあるのですが、富士山を登ったところで現状はストップしています。富士のお山は観て愛でるお山でした。

